

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	高齢膵癌患者に対する重粒子線治療の安全性、有効性に関する逆求的解析
	研究目的	膵癌は依然として予後不良な疾患とされていますが、手術による負担の大きさや化学療法による副作用を懸念して、高齢の患者さんはがんに対する積極的な治療を行わずに症状緩和の治療のみを行うベストサポर्टィブケア (Best supportive care (BSC)) を選択される方もいらっしゃいます。一方、患者さんの負担が比較的少ない放射線治療の中で、特に重粒子線治療による臨床試験が近年行われ、比較的良好な治療効果が報告されています。その結果、2022年4月から膵癌に対する重粒子線治療は保険診療となりました。この研究では高齢の膵癌患者さんに対する重粒子線治療の安全性と有効性を評価します。
	研究対象者	2017年1月から2022年5月に当院で重粒子線治療を開始した80歳以上の膵臓癌の患者さん。
	研究期間	西暦 2022年7月25日～西暦 2025年6月30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 放射線治療に関するデータ
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	溝口 信貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	共同研究機関はありません。
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター・放射線治療科・溝口信貴・PHS 5668